



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月2日

上場会社名 ジーエルサイエンス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7705 URL <https://www.gls.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 長見 善博
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 芹澤 修 (TEL) 03-5323-6633
 四半期報告書提出予定日 2020年11月6日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	13,210	12.5	1,735	44.6	1,859	49.7	1,026	54.1
2020年3月期第2四半期	11,742	△1.5	1,200	△10.5	1,242	△15.9	666	△30.9

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 1,182百万円(69.4%) 2020年3月期第2四半期 698百万円(△39.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	100.05	—
2020年3月期第2四半期	64.92	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	35,745	25,563	61.5
2020年3月期	33,091	24,742	64.6

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 21,998百万円 2020年3月期 21,392百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2021年3月期	—	0.00			
2021年3月期(予想)			—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,540	4.0	3,190	17.4	3,190	13.1	1,940	18.8	188.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	11,190,000株	2020年3月期	11,190,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	930,138株	2020年3月期	930,101株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	10,259,868株	2020年3月期2Q	10,259,927株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2020年4月1日から2020年9月30日まで)におけるわが国経済及び世界経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により依然として景気の悪化が続いており、各国の感染者数の状況は、特定の国や地域で再拡大しているなど、一刻も早いワクチン開発が待たれる状況となっており、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経済環境下におきまして、当社グループは、新型コロナウイルス感染症対策として、取引先に対してはオンライン商談やウェビナーを活用した営業活動を可能な範囲で行っており、従業員に対しては時差出勤・在宅勤務・出張制限等の対策を実施しております。また、今年度は2018年度からスタートした中期経営計画(3カ年)の最終年度として、計画達成に向けて可能な範囲で、成長と収益力及び品質の向上、海外戦略の推進、人材基盤や情報管理の強化等に取り組んでおります。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高につきましては、13,210百万円(前年同期比 12.5%増)となりました。損益につきましては、営業利益 1,735百万円(前年同期比 44.6%増)、経常利益 1,859百万円(前年同期比 49.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益 1,026百万円(前年同期比 54.1%増)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(分析機器事業)

分析機器事業におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響で活動を制限されている中、国内は受託分析、環境、食品と多くの分野で前年同期比で減収となりました。海外では中国及びインド市場で復調の兆しが見え前年同期比で増収となりました。全体としては国内減収分を海外で補いましたが微減となりました。

装置の売上高につきましては、製薬を中心に大型装置の納入が続き好調でしたが、官公庁、大学を中心に入札延期などの影響で装置全体では減収となりました。

消耗品の売上高につきましては、国内では上水分野などの一部を除き、全体的に動きが悪く減収となりました。海外では液体クロマトグラフ用カラムを中心に中国向け受注分の出荷やインド市場の回復で増収となりました。消耗品全体では微増となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は 6,455百万円(前年同期比 3.3%減)、営業利益は 483百万円(前年同期比 2.9%減)となりました。

(半導体事業)

半導体業界におきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大が世界各地で広がる中、スマートフォンに代表されるコンシューマ製品や車載、産業機器で大幅な消費減少が見込まれるものの、テレワークや巣ごもり需要の増大でデータ量が増加し、データセンターなどのインフラ需要は急激に拡大しています。世界中の人々の行動様式は変化を迫られ、新しい行動様式の下では、5GやAI、IoT、自動運転等の需要がますます高まると見込まれ、中長期的には半導体需要は着実に拡大していくと思われれます。

このような環境の中、当事業は、これまでに蓄えた豊富な受注残高と、工場の高稼働に伴う量産効果を背景に、売上高・利益ともに計画を大幅に上回る水準まで積み上げることができました。また、受注残高につきましては、2019年秋頃から拡大傾向に転じ、2020年夏には過去最高レベルの水準に達しました。足元では若干落ちています。引き続き高水準の受注残高をキープしている状況です。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は 6,169百万円(前年同期比 38.7%増)、営業利益は 1,275百万円(前年同期比 73.5%増)となりました。

(自動認識事業)

自動認識事業におきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により医療機器関連の製造ライン停止や工事案件の延期等があり売上高は前年同期比で微減となりました。

製品分類毎の売上高は、「モジュール」では警備機器関連が堅調に推移し前年同期を上回りました。「完成系製品」では建設業界向け受注物件の停滞等が影響し前年同期を下回り、「ソリューション」はシステム製品の設置工事の延期が影響し前年同期を下回りました。「タグカード」は住居関連向けタグが堅調であり前年同期を上回りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は 585百万円(前年同期比 4.8%減)、営業損失は 19百万円(前年同期は営業損失 36百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は受取手形及び売掛金の減少やたな卸資産の増加などにより21,260百万円(前連結会計年度末に比べ 862百万円の増加)となりました。固定資産は建物及び構築物や土地の増加などにより 14,484百万円(前連結会計年度末に比べ 1,791百万円の増加)となりました。その結果、資産合計では 35,745百万円(前連結会計年度末に比べ 2,653百万円の増加)となりました。

(負債の状況)

当第2四半期連結会計期間末の流動負債は短期借入金や未払法人税等の増加などにより6,740百万円(前連結会計年度末に比べ 448百万円の増加)となりました。固定負債は長期借入金の増加などにより 3,441百万円(前連結会計年度末に比べ 1,384百万円の増加)となりました。その結果、負債合計では 10,181百万円(前連結会計年度末に比べ 1,832百万円の増加)となりました。

(純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は利益剰余金の増加などにより 25,563百万円(前連結会計年度末に比べ 820百万円の増加)となりました。自己資本比率は 61.5%となりました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,891,020	5,904,086
受取手形及び売掛金	8,428,722	8,038,721
商品及び製品	1,664,197	2,067,076
仕掛品	2,147,955	2,470,029
原材料及び貯蔵品	2,148,571	2,337,142
その他	144,785	467,787
貸倒引当金	△26,342	△23,933
流動資産合計	20,398,910	21,260,910
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,897,936	5,645,672
土地	3,406,791	4,159,205
その他（純額）	3,228,717	2,513,224
有形固定資産合計	10,533,445	12,318,101
無形固定資産	351,959	501,350
投資その他の資産		
その他	1,808,825	1,666,975
貸倒引当金	△1,731	△2,227
投資その他の資産合計	1,807,094	1,664,747
固定資産合計	12,692,499	14,484,200
資産合計	33,091,409	35,745,110

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,025,995	2,874,496
短期借入金	1,425,179	1,857,549
未払法人税等	306,734	640,870
賞与引当金	565,811	613,262
その他	968,640	754,297
流動負債合計	6,292,361	6,740,476
固定負債		
長期借入金	1,425,209	2,734,049
役員退職慰労引当金	86,361	97,644
退職給付に係る負債	214,458	236,595
その他	330,313	372,883
固定負債合計	2,056,342	3,441,172
負債合計	8,348,704	10,181,648
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,207,795	1,207,795
資本剰余金	1,820,956	1,816,440
利益剰余金	18,755,279	19,474,031
自己株式	△509,326	△509,382
株主資本合計	21,274,704	21,988,884
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	224,198	204,110
繰延ヘッジ損益	41	△1,721
土地再評価差額金	△312,234	△312,234
為替換算調整勘定	152,594	90,402
退職給付に係る調整累計額	52,910	28,704
その他の包括利益累計額合計	117,510	9,261
非支配株主持分	3,350,489	3,565,315
純資産合計	24,742,705	25,563,461
負債純資産合計	33,091,409	35,745,110

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	11,742,351	13,210,964
売上原価	7,677,422	8,613,571
売上総利益	4,064,929	4,597,393
販売費及び一般管理費	2,864,391	2,861,779
営業利益	1,200,538	1,735,614
営業外収益		
受取配当金	18,691	14,719
還付金収入	23,963	—
補助金収入	16,780	124,482
その他	13,232	30,607
営業外収益合計	72,667	169,808
営業外費用		
支払利息	10,361	11,163
為替差損	18,776	1,208
租税公課	—	18,500
その他	1,663	14,588
営業外費用合計	30,800	45,461
経常利益	1,242,404	1,859,961
特別利益		
投資有価証券売却益	—	88,768
固定資産売却益	299	—
特別利益合計	299	88,768
特別損失		
固定資産売却損	—	103
固定資産除却損	2,589	7,941
特別損失合計	2,589	8,044
税金等調整前四半期純利益	1,240,115	1,940,684
法人税、住民税及び事業税	354,592	632,949
法人税等調整額	30,619	△17,435
法人税等合計	385,212	615,513
四半期純利益	854,903	1,325,170
非支配株主に帰属する四半期純利益	188,837	298,622
親会社株主に帰属する四半期純利益	666,065	1,026,548

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	854,903	1,325,170
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△56,033	△19,985
繰延ヘッジ損益	△1,754	△1,763
為替換算調整勘定	△97,005	△96,484
退職給付に係る調整額	△1,891	△24,205
その他の包括利益合計	△156,684	△142,439
四半期包括利益	698,219	1,182,731
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	541,579	918,298
非支配株主に係る四半期包括利益	156,639	264,432

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。